

～災害廃棄物処理の現状と適正な再利用を目指して～

東日本大震災からの1日も早い復旧・復興が望まれるなか、喫緊の課題の一つとなっているのが、災害廃棄物(がれき)の速やかな処理です。環境省の推計によると、地震・津波によって発生した災害廃棄物は岩手県、宮城県、福島県合計で22,528千トンにのぼり、これは3県で排出される一般廃棄物の約11年分に相当しています。

しかし、津波被災地の災害廃棄物処理は、東北地方の再建に繋がる重要な課題であるにもかかわらず、広範囲にわたり分布しているほか、最終処分場の確保が困難な点など、過去の震災時における対応と大きく異なる点が多く、撤去・処分、活用すべきかなどの検討課題も山積みされています。

これらの諸課題は、建設部門を始めとする20技術部門を有する技術士会がまさに取り組むべきテーマと考え、災害廃棄物処理の現状と有効利用への対応について、産学官からのパネリストをお招きしたシンポジウムを開催します。

市民及び官公庁・自治体・企業関係者、学生、技術士の皆様の多数参加をお待ちしております。

プログラム

—12月10日(月)—

◇受付開始	12:00～
◇第一部 講演	13:00～15:30
●基調講演 :「(仮)震災復興への諸課題と産学官連携について」	50分
東北大学工学研究科教授・ガレキ処理コンソーシアム代表 久田 真 氏	
●講演1:「災害廃棄物の処理について」	20分
環境省東北地方環境事務所 所長 鳥居 敏男 氏	
●講演2:「(仮)災害廃棄物・津波堆積物の有効利用と課題」	20分
東北工業大学工学部都市マネジメント学科 教授 今西 肇 氏 技術士(建設)	
●講演3:「災害廃棄物処理の現状と課題」	20分
鹿島建設株式会社 東北支店 次長 加納 実 氏 技術士(建設)	
●講演4:「コンクリートガラ+津波堆積土の堤防盛土への有効利用について」	20分
国土交通省仙台河川国道事務所副所長 武田 節郎 氏	
●講演5:「災害廃棄物(がれき)と臭気の課題」	20分
東北文化学園大学 教授 岡田 誠之 氏 技術士(衛生工学)	
◇休憩	15:30～15:45
◇第二部 パネルディスカッション	15:45～17:00
【コーディネーター】日本技術士会 東北本部長 吉川 謙造	
【パネリスト】	
●久田 真 氏(東北大学工学研究科教授・ガレキ処理コンソーシアム代表)	
●鳥居 敏男氏(環境省東北地方環境事務所 所長)	
●今西 肇 氏(東北工業大学工学部都市マネジメント学科 教授)	
●加納 実 氏(鹿島建設株式会社 東北支店次長)	

◇と き:平成24年12月10日(月) 13:00～17:00 ◇定 員:120名(先着順)

◇と ころ:株式会社ユアテック3F大会議室 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡4丁目1番1号 電話:022-296-2111

◇主 催 :公益社団法人 日本技術士会 東北本部、宮城県支部

◇共 催 :公益社団法人 日本技術士会 防災支援委員会、衛生工学部会

◇参加対象者:技術士、一般市民、官公庁・自治体・企業関係者、学生

◇参加費:無 料

◇申込み先:(社)日本技術士会東北支部 〒980-0012 仙台市青葉区錦町1-6-25 宮路ビル 2F

E-mail:tohokugijutushi@nifty.com 電話:022-723-3755 FAX:022-723-3812

◇締め切り:平成24年12月7日(金)

12/10(月)
13:00~17:00

公益社団法人 日本技術士会東北本部、宮城県支部主催 行事

シンポジウム:「東日本大震災」の復旧・復興に向けて

～災害廃棄物処理の現状と適正な再利用を目指して～

申 込 用 紙

(公社)日本技術士会 東北本部 事務局 御中

〒980-0012 仙台市青葉区錦町 1-6-25 宮路ビル 2F

E-mail:tohokugijutushi@nifty.com

連絡先 電話:022-723-3755 FAX:022-723-3812

締め切り:平成 24年 12月 7 日 (金)

氏 名	
所 属 先	
電話番号	
E-mail	
区 分	技術士会会員 ・ その他

※ 会 場 株式会社 ユアテック 3階大会議室

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡4丁目1番1号

電話:022-296-2111